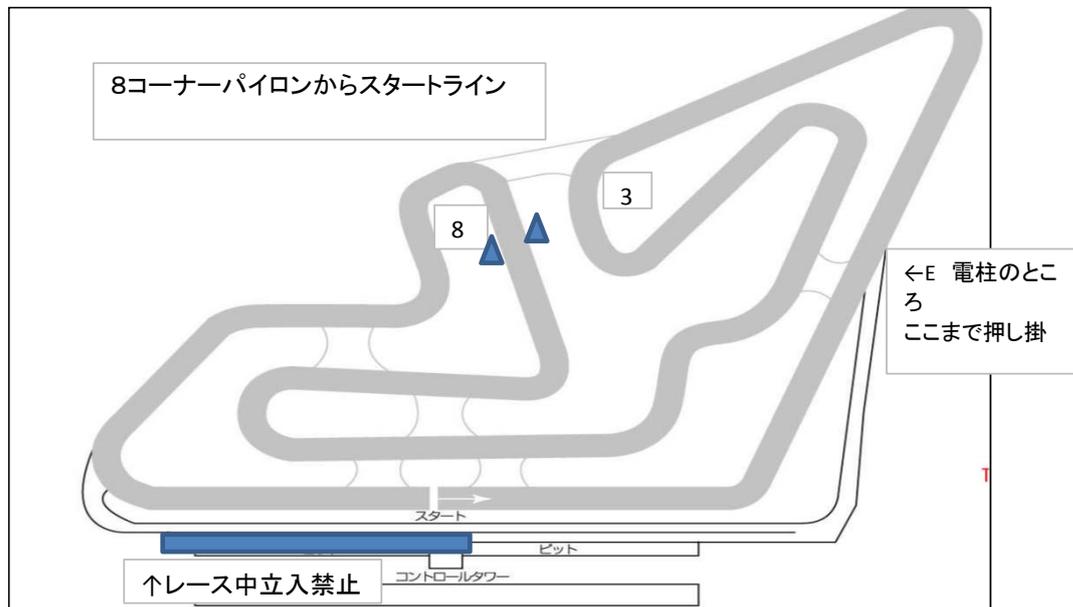


## ブリーフィング資料

ブリーフィング前に事前にお読みください。ブリーフィング時に質疑応答いたします。



コントロールタワーより最終コーナー側のピットロードは立入禁止とします。

### <公式練習>

すべてのドライバーは公式練習に参加しなければなりません。

### <タイムトライアル>

- ・ドライバーは、タイムトライアルとして設定された時間内であれば任意に出走することができる。但し、コースイン後、ピットに戻った場合は再トライすることは出来ない。

### <スタート進行>

- 1) スタートの合図は灯火信号によって行う
- 2) スタートが合図される前に、約一周のフォーメーションラップを行う。  
ドライバーは、2列の隊列でスタートラインへ向かい、スタートライン25m手前に引かれたイエローラインを越えるまでは加速してはならない。  
イエローラインより手前にパイロンを1本立てます。
- 3) カートがスタートラインに接近する段階で赤信号が点灯する。  
当該パイロンに故意に接触等をしたドライバーに対してはペナルティが課せられることがある。
- 4) フォーメーションが整いイエローライン前に加速をしていないと判断された場合、赤信号を消灯してスタートの合図を行う。  
フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、フォーメーションラップが更に一周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける(消灯しない)。
- 5) フォーメーションラップ中の隊列復帰は8コーナーまでとし、8コーナー～スタートラインまでは隊列復帰禁止区間とする。
- 6) おしがけは、ダミーグリッドからのE(電信柱)のところまでとし、エンジンの掛からないカートはピットに戻
- 7) フォーメーションラップ中に隊列が8コーナーのところまで来た場合は、ピットマーシャルがピットアウトを静止する。  
その時、スタート合図がなされた場合は、レースへの出走はできないが、フォーメーションラップがもう1周になった場合は、最後尾スタートとができる。  
決勝スタート時、本コース上において先頭車両が3コーナー通過時までにはエンジンのかからない車両はピットスタートとする。
- 8) フォーメーションラップ開始時、フロントローのドライバーは後続のドライバーが追いつけないようなスピードで走行しないよう注意する。特に6番ポストを通過してからは隊列を整えるように配慮すること。また最終コーナー立ち上がりから、イエローラインまでは加速してはならない。

### <レース中の留意事項>

- 1) 黄旗提示区間の徐行、追い越し禁止を厳守すること。
- 2) 復帰するための最小限の方向転換は認める。
- 3) カデット及びジュニアの公式練習・TT・予選・決勝ヒートにおいて、スピン等で停止やコースアウトした場合、他を妨害することなく、後続車通過後、またはコース委員の指示後にレースに復帰すること。尚、レースに復帰する際、カートから降車したり自力でカートを押してエンジンを始動することは認められない。

# 2011 第35回 TOYOTA SLカートミーティング全国大会

公式通知No.6-2 2011/10/30

- 4) オレンジボール旗は、レースの最終周時では振らない。しかし最終車検時において必備とされている物が無ければ失格とする。
- 5) 捨てバイザー(シールド)の使用は禁止する。
- 6) タイヤの加工は一切禁止する。
- 7) ドライバーの合図は必ず行うこと。  
合図(手の上げ方)は必ず頭上高く上げることを義務付ける。  
オフィシャルが合図不履行(頭上高く上げていない場合も含む)と判断した場合には、ペナルティの対象とする。
- 8) 黒旗の提示は、コントロールライン上とする。
- 9) チェッカーフラッグを受けたカートに対しては黄旗を提示する。  
ドライバーは、黄旗に従い指定場所に移動すること。チェッカー後は減速すること。  
ローリングが始まってから、レースがスタートするまでの間、メカニックはピットロード及び、コース側(プラットフォーム)に出るはならない。  
チェッカー旗が振られたら、メカニックはコース側(プラットフォーム)及びピットから離れたパドックに戻らなければならない。また、チェッカー旗が振られた後にピットインしたカートの整備をしてはならない。
- 10) ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならず、かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならぬ。
- 11) 出走前には、選手自身全ての封印をチェックしてください。
- 12) レース中、リタイヤされた方も、必ず車検を受ける様をお願いします。  
レース中、ドライバーがパドックに入らない様をお願いします。(工具等を取りに行ったりなど)
- 13) レース中ピットクルーのピットロードへの立ち入りは、クレデンシャルを必要とし、ピット作業時またはピットサイン提示時以外はピットロードのピット側で待機してください。クラッシュパット沿いでの待機は禁止します。
- 14) 故意に自己又は他人の安全をかえりみることなく行う行為(故意と思われるプッシング等)や著しくマナーの悪い行為に対しては、積極的に白・黒旗を振ります。

## <ドライバーに対する留意事項>

- 1) ストレート走行中、空気抵抗を減らす目的で顔を伏せる姿勢のドライバーがいるが、視野(目線)まで伏せることは厳禁であり、如何なる状況下であっても前方の視野を保っておくこと。
- 2) フォーメーションラップ中、隊列のペースを乱さないように円滑なローリングを行うこと。
- 3) ピットエリア内でのピットロード上の速度を十分減速すること。
- 4) ピットエリアおよびパドック内での火気および高熱を発生するもの(溶接機、サンダー等)は指定された作業エリアで使用すること。
- 5) パドックエリア、ウェイティンググリッド、およびオーガナイザーが指定したエリアにおけるエンジンの始動および作動については、カートが走行可能な装備等を具備し、リアタイヤが地面に接地した状態(リアタイヤが地面に常に接触した状態)でのみ認められる。

## <服装に関する注意>

- 1) ヘルメットの顎紐
- 2) レーシングスーツ前側上部のファスナー押え様ストラップ

## <喫煙・暖気について>

- 1) エンジンの始動は車検場暖気エリアで行う。
- 2) ピット内は全面禁煙とし、喫煙場所での喫煙を厳守する。  
喫煙場所:トイレ前 食堂前 2か所とする。

## <その他>

- 1) 電光掲示板の表示及び、レースアナウンスはサービスの一環として表示しているものであり、暫定又は、正式発表との食い違いがあっても、全て事務局より発表される結果が優先される。
- 2) スタート前の集合は場内放送にてご案内致しますのでご協力お願いいたします。
- 3) スムーズなレース進行を心がけるためにも、オンタイムでのスケジュールの協力をお願いします。  
天候や日没時刻によって安全性を考慮し周回数減少や時間の短縮を行う場合もあります。
- 4) ドライバーのフェアプレーを促すために、レース開催中、怪我をしないで日頃の実力を十分に発揮してもらおう。